


「**箕原 睦** 先生

MINOHARA MUTSUMI
〈政治経済／文章理解／
社会時事／判断推理〉

「スタディサプリ」
公務員対策講座 担当講師





アウトプットを意識した
インプット術を伝授し
合格へときっちり導く


博士号を持つ箕原先生は、試験科目数が多い公務員試験を効率よく乗りきるために、実際の試験でどのように出題されるのかという「アウトプットを意識したインプット術」を伝授してくれます。政治経済では、わかりやすい例え話を豊富に用い、大学受験レベルの話を簡単に親しみやすく解説。苦手を好きに変える達人でもあります。

親族や友人にも公務員が多く、彼らの話をすることで公務員としての活躍を意識させ、学生のやる気をアップさせるという技も。試験前は他クラスの学生から「通過儀礼のように面接指導を頼まれる」というから信頼は大。そんな先生が一番伝えたいのは、「働くことに希望を持てる、格好いい大人を目指す」こと。良き家庭人でもある先生は、理想の「格好いい大人」として、学生の憧れを集めています。

「**山本 剛** 先生

YAMAMOTO GO
〈判断推理／数的推理／数学〉





公式を使ってパズルを解く
ゲーム感覚で
勉強できる大人気の授業


「数的・判断は、数学や論理のパズル。楽しくなければ、勉強じゃない」と笑顔で語る山本先生。学生がどんなところでつまづくのか細かく把握した上で、試験によく出る基礎問題を中心に、確実に点をとっていく方法を伝授。難しい解法でもかみ砕いて教えてくれるから、数的・判断が不安だった学生も自力で解けるように。

自称「ゆるキャラ」と言うように、授業中も学生が発言しやすい雰囲気づくりに努め、「わからなかったら、首を傾げるだけでもいいけん、何か反応を示してね」と優しい言葉をかける。また「…やけんが。今のよか？OK?」と授業中に炸裂する博多弁も、試験勉強でピリピリしがちなクラスを和ませてくれます。そんなムードメーカーの先生についていけば、公務員試験ライフも思いきり楽しみながら目標達成できることでしょう。

「**梶村 勝治** 先生

KAJIMURA KATSUJI
〈数的推理／判断推理／
資料解釈／数学〉





「希望や自信が
持てるよう支えたい」
その思いで導く合格への道


数的推理を教える梶村先生は、学生の苦手意識を払拭するため、難しい計算を使わない簡単な解き方や、シンプルな考え方で正解を導き出す方法を教えてくれます。

「積極的な学びこそ合格への近道」と話す先生は、学生の質問を引き出し、学習意欲を高めるための声掛けを欠かしません。また、「公務員試験に合格するためには努力をし続けることができるかどうかが重要」との考えから、長い合格への道のりの中で、伸び悩み自信をなくした学生を、的確なアドバイスで奮い立たせてくれる頼もしい先生でもあります。先生の言葉に励まされ、合格をつかみ取った学生は数知れず。普段から温かく見守っているからこそできる細やかな指導で、学生が夢を叶えるその時まで、共に寄り添い、歩いてくれる存在なのです。

「**大村 彩** 先生

OMURA AYA
〈数的推理／判断推理／物理／
化学／生物／地学〉





ユーモアあふれる
授業スタイルで学生に合った
柔軟な授業を展開


大村先生が担当するのは、試験での出題数が多い数的推理と、苦手意識を持つ学生が多い自然科学系全般。数的推理では、シンプルでスピーディーな解法を教える一方で、なかなか解けずにいる学生には個々に合った別の解法を示す柔軟な授業を展開。また、自然科学では「なぜ空は青いのか」など身近な自然現象から興味を持たせる工夫も満載。絵や図、時にはユーモアを交えた動きで教壇に注目させ、笑っているうちに知識が増えるというオリジナリティー溢れる授業は、楽しく学べる授業として評判です。

面接指導にも定評があり、「その学生の頑張りが報われる瞬間が一番嬉しい」と微笑む先生は、学生のお姉さんの存在。「心の負担を軽くして、勉強に身が入るように」と様々な相談にも快く乗ってくれます。

「**高木 愛** 先生

TAKAGI AI
〈世界史／日本史／数的推理〉





試験で問われる学力と
社会で問われる人間力を
歴史と先人から説く


学習塾で培ったテクニックをもとに、対話形式で史実を脳裏に刻み、体感的に伝授するのが高木先生の授業スタイル。複数の国にわたる世界史の内容が難解だと思う学生も多い中、「世界史は立体パズルのようなもの。それぞれのピースを理解できたら、時代や国は違ってても史実が合流した時に最高に面白いと感じられる」と先を見据えたアプローチで、学生の好奇心を引き出してくれます。

さらに、「歴史を学ぶことは、人の生き方を勉強すること」と、社会で生きる人間力や人生観に結びつける展開で、高得点を目指す学びだけでなく、多くの学びを得ることができます。先生の導きに鼓舞され、学ぶ姿勢や表情が変わる学生は多く、おらかで優しい雰囲気も人気の理由です。

「**佐藤 美聡** 先生

SATO MISATO
〈文章理解／判断推理〉





過去問から導き出したコツや
テクニックをちりばめた
納得の解法


教室中に響く明るく元気な声で授業を行う佐藤先生は、公務員試験科目の中では比較的配点が高い「文章理解」を担当。過去問分析はもちろん、ASOがこれまで積み上げてきたデータに基づき、試験本番に自力で早く解くための指導を徹底して行っています。「国語や古文が苦手な人でも、テクニックを知り、着目点がわかれば解けるようになる。苦手意識を捨て、授業をちゃんと聞いていれば大丈夫!」と一人ひとりに合わせた声掛けで引っ張ってくれます。

面接対策につながる生活指導では、一日のうちに、いろんな学生にスポットライトを当て褒めて伸ばすスタイル。「合格に導く環境が用意されたASOなら、必ず夢は叶う。後悔だけは絶対にさせません」と熱く語る先生は、私に任せてと胸をたたく、頼もしいお姉さんの存在です。

「**田中 純一** 先生

TANAKA JYUNICHI
〈政治経済／文章理解〉





目指すは全員合格！
生徒と同じベクトルで
全力を捧げる最高のコーチ


「政治経済は単なる知識として詰め込まないことがポイント」と話す田中先生。難しい内容はかみ砕いたり、身近なものに置き換えたりと、学生のイメージに残るよう工夫された授業で、わかりやすさだけでなく、何度も繰り返す反復学習での定着率の高さにも定評があります。またクラス担任として、同じ目標に向け切磋琢磨する学生たちの団結力を高め、モチベーションを維持させる手腕にも長けており、クラス対抗の朝テストレースで優勝する指導力を持つ名コーチでもあります。

公務員試験は合格がゴールではなく、その先には人間力が問われる現場があります。そんな学生たちのために「自ら考え、行動し、自らを高める」、その必要性も説きながら豊かな人間性の育成にも力を注いでいる先生です。

「**横山 真太郎** 先生

YOKOYAMA SHINTARO
〈政治経済／日本史／
世界史／地理／社会時事〉





合格だけでなく
夢を叶えた後も活躍し続ける
ことができる成長を

やみくもに暗記するには膨大な情報を扱う知識系の科目。どこから手をつけるべきなのかわからず、苦手と感じる学生も多い科目ですが、横山先生は公務員試験を突破するために一人ひとり異なる「勉強すべきポイント」を明確にし、効率良い勉強の道筋をたててくれるため、短期間で得点を引き上げる指導に定評があります。

「社会人として働くことの楽しさを知ってほしい」と話す先生。学生にはどんな公務員として活躍したいのかイメージを持つ大切さを伝えることを心掛け、近年重視される人物試験への対策にも活かされています。公務員試験合格という目の前の目標だけでなく、公務員となった後も学生が成長し続けていけるよう指導する先生の姿は、試験合格だけではない、学生の成長を卒業後までも見据え応援する想いに溢れています。

船木 竜太先生

FUNAKI RYUTA
〈数的推理／資料解釈／
数学／化学〉



「数字嫌いの学生に
数字の楽しさを教えたい」
学生のやる気を引き出す達人

数的推理を担当する船木先生。「数字嫌いの学生は数的推理ができないのではない、したことがなかっただけ」との言葉の通り、先生の授業で解ける楽しさを知り、数的推理を得意科目へと変えた学生は後を絶ちません。放課後や空き時間には、先生に熱心に質問や相談を持ちかけている学生の姿をよく見かけることから、やる気を引き出す達人であることがうかがえます。

個人戦に思える試験勉強ですが、クラス全体のモチベーションが個々に与える影響は大きく、「受験は団体戦」というのが先生の考え。できない学生はできるように、できる学生はより理解を深められるように授業を工夫することを怠らず、全員を合格へと導いてくれます。時に苦しくもある試験勉強の中、勉強の楽しさや共に学ぶ仲間の力に気づかせてくれる心強い味方です。

江藤 弘明先生

ETO HIROAKI
〈判断推理／数的推理／物理／
化学／生物／地学〉



「一般知識出るとこチェック
生物・地学」著 (TAC出版)
「一般知識出るとこチェック
物理・科学」著 (TAC出版)



「なぜ？」のマジックで
苦手意識を克服させる
「自然科学の伝道師」

「自然科学の伝道師」の異名をとる江藤先生。苦手意識を持ちやすい化学や物理を「謎解きの面白さ」を交えて理解させる授業力に定評があります。オープンキャンパスの体験授業では、実験を通して、学ぶことの喜びや発見をスポンジのようにぐんぐん吸収させてくれるため、苦手意識を克服できたという学生も多数。

普段は気が長く優しい先生ですが、合格のためならば叱咤することも。「しんどくても苦しいことから逃げないで。試験は一人で受けるけど、基本団体戦。クラス全員で夢を叶えよう」と励ましてくれます。一次試験突破は絶対条件。人物対策では進級面接の機会に本番さながらの練習をしたり、人前で話させたりと場数を踏ませる実践的な指導で合格に導いてくれます。

桑原 賢先生

KUWAHARA MASARU
〈政治経済／日本史／
世界史／地理／社会時事〉



受験指導の大ベテラン
卒業生とのネットワークで
公務員試験を読み解く

公務員受験指導歴では右に出るものはいない桑原先生。その知識量と経験値から、学生だけでなく先生にも頼りにされる存在。「卒業生との人脈が一番の宝」と語り、卒業生とは常に連絡を取り合い、面接練習でも協力を仰ぐなどネットワークを駆使。卒業後も、絆は健在です。

明るくて大きな声で始まる授業は、「とにかく、わかりやすく」がモットー。人文系や社会系の科目でも丸暗記ではなく、疑問を持ち、自分で考えて理解するというトレーニングを日頃から積ませ、他の科目でも使える応用力を身につけるのが「桑原流の合格の方程式」。遅刻癖のある学生に対しても真剣に向き合い、公務員を目指そうと思った原点を思い出させます。「ほったらかしにしない、それが担任の責任です」先生を信じて、ついていけば大丈夫！

山端 亜弥先生

YAMABERI AYA
〈数的推理／判断推理／物理／
化学／生物／地学〉



いつも本気の先生が示す
合格への一步は
何事も楽しむこと

「同じ『やる』なら楽しいほうがいい」その言葉通り、明るく楽しい授業を展開する山端先生。単なる暗記に終わらず、「なぜそうなるか」を理解させることを通じて、例えば数式の立て方や、生物や地学の仕組みひとつにも面白さを感じさせてくれる説明はさすがの一言。出題科目数が多い公務員試験だからこそ、まずは勉強内容に対する興味を十分に高めることが重視されています。また、学生とすぐに打ち解けることができるのも先生の大きな強み。だからこそ、学生一人ひとりの状況に合ったアドバイスができ、時には踏み込んだ厳しい指導もためらわずにできるのです。そんな先生の好きな言葉は「本気ですれば何でも面白い」。ハードに思える公務員試験への道も、いつも本気の先生となら、楽しさを感じながら歩んでいけるはず。

松隈 達也先生

MATSUKUMA TATSUYA
〈世界史／日本史／
地理／英語〉



世界史は暗記学習ではなく
広い視野と想像力を
刺激する異文化交流

「100年前、500年前の人々のことや、世界情勢を知ろうとする世界史の学習は、まさしく異文化交流の一つです」という松隈先生。そんな先生の授業は、「有田や伊万里があったから、イギリス産業革命が始まった」など、学生の興味を引くユーモアに富んでおり、「親近感がわきやすく、思わず引き込まれる」と人気です。

時代背景や社会状況などの流れを中心に、人間の感情や考え、思惑を絡めて捉えることで、世界史の史実を知るだけでなく、複数の視点と想像力が刺激され、理解が深まっていきます。暗記学習が苦手でも大丈夫！「他者を理解する異文化交流」と考えると、好奇心を駆り立てる「新しい世界」に見えてきます。そんな豊かな発想力と多角的な思考力も育ててくれる先生です。

鬼塚 勇先生

ONITSUKA ISAMU
〈日本史／政治経済〉



時にシリアスに時にユーモラスに
公務員経験者として
学力と共に「志」を指南

「将来の展望に指針を示す、信頼される大人でありたい」という鬼塚先生。「学生たちが学んだ知識を社会や業務の中でいかに活用していくか、その術までを懇切丁寧に指導したい」という力強い言葉の通り、防衛省・幹部自衛官としてのキャリアを活かした「本物の知識や考え方」を伝えてくれます。

学生との関わりで心がけているのは、「教師と学生」という立場のみにとらわれないこと。共に成長や成功を喜び合える「仲間」として、学生の心に届く言葉遣いと態度を意識しているそう。常に深い愛情をもって学生に寄り添う鬼塚先生の指導は、学力向上のみならず、社会に巣立つために必要な「自信」や「心構え」も身につけてくれます。

長友 裕幸先生

NAGATOMO HIROYUKI
〈資料解釈／数的推理／
判断推理／数学〉



日常レベルの話題で
数学を身近に
笑いを学びに変える名指導者

「数学そのものは出題数が少ないけれど、理科学科の計算系の問題にまで影響が及ぶ重要な科目」と、数学の位置付けを語る長友先生。自身の大学受験時に、「たった1問、問題を読み間違えていたために不合格となり、人生が変わってしまった」という苦い経験から、1問の重みを訴えています。

暗記が苦手な学生には「スマホの操作を覚えるのは、毎日触れているから。減多に使わない機能は結局使えないはず」といった具合にアドバイス。学生にじっくりくような表現で、勉強のコツを伝授してくれます。自分の役割は、“仲間のリーダー”と話す先生。「真面目にやるだけが人生ではなく、時にはくだけることも必要」と、授業にも「ボケ」を織り交ぜながら、学生の興味を引き続けます。

本多 利幸先生

HONDA TOSHIYUKI
〈英語／文章理解／政治経済〉



大胆なハイテンション授業と
個々に寄り添った親身な指導で
目標達成への道を照らす

「英語は堅苦しいというイメージを捨てて、寝ころがってやればいいんです」と本多先生。「英語は大まかな意味をとらえることが大事。全文わかる必要はありません。毎日10分でも英文に触れて目を慣らすことで、授業で教える解き方がスーッと入ってきます」。そんな風に、授業以外でも毎日続けられる勉強法を教えてください。

「とにかく授業に全力投球」と、笑顔と大きな声でハイテンションな授業を展開。「英語は嫌いだけど、先生の授業は面白いので、頑張ろうという気になる」という声も続々届きます。「いつでも明るく優しく学生を照らし続ける灯」でありたいという先生。諦めそうになる学生とも根気よく向き合うなど、一人ひとりに寄り添う姿勢も慕われる理由の一つです。

福田 一総先生

FUKUDA KAZUSA
〈日本史／世界史／地理〉



質問や疑問を解消することは「理解」につながる第一歩
分からない時こそ積極的に

「学生と年齢が近い分、同じ目線に立って全力で学生と向き合いたい」という福田先生。授業以外でも学生一人ひとりの表情や態度を注視して、将来の「人間力」に通じる細やかな指導を心がけているそう。

また、「公務員試験は初めて学ぶことも多く、すぐに理解できないところがあって当然」との考えから、学生目線で考えた効率的で吸収しやすい授業スキルも常に追求し続けているという福田先生。全力で学生と向き合い、ベストを尽くすエネルギーが学生のやる気を刺激し、「先生の熱意に満ちた指導が心強く、勉強の励みになる」と学生から厚い信頼が寄せられています。学生の質問や疑問にとことん寄り添い、熱心に指導してくれる福田先生は合格への努力を力強く支えてくれます。

賀来 美和先生

KAKU MIWA
〈資料解釈／数学／化学〉



「わからない」は学びのチャンス！ 恥ずかしがらずに積極的に質問を

「学力を伸ばすには、授業で知識を伝授するだけでなく、学んだことを定着させる“ローリング学習”が必要」という賀来先生。学生たちが必ず復習できるようにと綿密に授業を組み立て、小テストを実施。授業内に反復学習の時間を設けることで、効果的に学習できるようになっています。

また、「しっかり授業を聞いていても、わからないことは出てくるもの。どんどん質問してほしい」と、積極的に学生とコミュニケーションを取りながら、学生の疑問や質問を吸い上げていきます。学生の「わからないポイント」を押さえつつ、向学心と好奇心を抱く学習の好機を見逃さない手厚い指導で学生との信頼関係も深く、先生の授業はいつも学生たちの活気と意欲に溢れています。

豊田 亮先生

TOYODA RYO
〈文章理解／英語／日本史〉



成長の積み重ねこそが結果！
自己を見出す俯瞰力を
培う良き「導き手」

「文章理解」は、現代が直面している様々な問題がテーマとして扱われているため、丁寧に「バックボーン」も学生に考えてもらうことで、面接対策にも生きてくと話す豊田先生。また、「合格という『結果』を目指しながらも、そこに至るまでの『プロセス』を大切にしている学生こそが、卒業後も成功し続ける」という確信が先生にはあります。そのため、「些細なことであっても、日々の成長を実感してもらうことが大事。その積み重ねが合格であると認識してほしい」と語ります。

このように、「人間力の養成」にフォーカスして学生に対峙している豊田先生は、「仕事とは、生活のための手段ではなく、人生そのもの。そのため、社会で活躍するためには、仕事を愛し、『利他の精神』を磨くことが大切」と繰り返します。その真摯な姿勢に刺激を受け、広い視野で将来を考え、「何のために」を理解しながら努力できると、多くの学生から慕われています。

中泉 満智栄先生

NAKAIZUMI MICHIE
〈判断推理／数的推理／物理／
化学／数学／地学〉



一人ひとりと向き合い
潜在能力を引き出す
個別指導で合格へ導く

高い経験値と優れた指導力で、毎年多くの学生を公務員として世に送り出している中泉先生。じっくり向き合う個別指導は学生の潜在能力を引き出し、高めていきます。与えられた条件を整理し、答えを導く判断推理は、高校の授業にはない新しい科目。最初の授業では「みんな同じゼロからのスタート。今からやれば間に合うからね」と優しく声を掛け、考える力を育てることに重点を置き、同じ質問にも何度でも繰り返し答えてくれます。

面接試験が重視される今、合格に必要なのは「行動力」。ボランティアや職場訪問など、先生の指示ではなく、自ら考えて動ける積極性を養う指導が心がけられています。「まとまりのあるクラスは、自然に助け合うもの。先生がクラスの中心ではなく学生一人ひとりが輝くクラスにしたい」と話す先生は、学生の心の支えになっています。

武内 淳先生

TAKEUCHI ATSUSHI
〈日本史／政治経済〉



一人ひとりに寄り添い
夢を叶えるための
縁の下の力持ち

プレーヤーである学生の力を引き出す名コーチ。また時には、学生に優しく寄り添う「精神安定剤」。これが武内先生です。共通して言えることは学生と真摯に向き合い、共に夢の実現に熱い気持ちで向かっていること。「わからない所をそのままにせず、その日のうちに納得して帰らせることに力を入れています」という先生。以前は、質問をすることを恥ずかしがっていた学生が、何度も質問をしているうちに聞くことが当たり前になり、恥ずかしさが無くなっていったそう。その甲斐あって、「以前よりも勉強する学生を目の当たりにする瞬間は何度経験しても教師冥利につきます」と語る。夢と期待が溢れる学生に熱い思いで寄り添い、熱心な指導で合格へと導きます。

甲斐 友康先生

KAI TOMOYASU
〈数的推理／数学〉



疑問やつまずきは好機！
逃さず活かして
「合格」に結びつく学びに

「学生の喜ぶ顔を見るのが一番のやりがい」と語る甲斐先生。学生に苦手意識を持ってほしくないとの思いから、身近なものに例えて解説したり、前回の内容を流用した反復学習もできる例題を用いたり、常に「学生の視点」を意識した理解しやすい授業作りを心掛けているといいます。「勉強で生じた疑問やつまずきは学びが好転するチャンス」と捉え、好機を逃さないために必要なフォローができるようにと、自ら模試を解いて間違いやすい問題を把握したり、楽しんで学べるような時事ネタを探したりと、いつもアクセル全開で努める姿も印象的です。いつも親身に学生に寄り添い続ける甲斐先生は、合格へ続く努力の道を常に励まし、力強く支えてくれる「最強のミカタ」になるに違いありません。

小島 俊宣先生

KOJIMA TOSHINOBU
〈数的推理／自然科学〉



スモールステップを重ねて
合格への歩みを支える
強い自信をつけてほしい

「学生と共に考え、行動して目標達成できることが最大の喜び」という小島先生。指導する上で大切にしているのは、勉強の仕方だけでなく、社会人としての考え方や心構えなど、「人間力」を高めることだといいます。先生の親身なアドバイスが面接試験や、社会に出た後のコミュニケーションに役立ったと話す学生も少なくありません。

確かなコーチング力をもって合格に導きたいという先生の授業は、学生のやる気を引き出す工夫が豊富。苦手意識を持たず、効果的に理解できることで「成功体験」を積み重ね、モチベーション高く学んでほしいという熱意に溢れています。常に「学生のために」を貫く小島先生こそ夢の実現を力強く支えてくれる存在です。

草野 政幸先生

KUSANO MASAYUKI
〈学校事務〉



人生の先輩として
夢の実現を応援する
「ヒントの提供者」

事務担当として広く学生生活を支えている草野先生。これまでたくさんの学生を見つめてきた先生ならではの視点と、豊かな人生経験をともに、面接指導などを行います。教科指導とは異なる学生指導において、「社会人の良き先輩として、学生たちが様々な事柄を考え、実行する上で、ヒントの提供者でありたい」と、合格をつかんだ後にも続く、長い人生キャリアも想定したアドバイスを心掛けているといいます。学生が自ら考え、行動するよう、「促す指導」は、将来の現場で活かされる発想力や実行力アップにつながります。「自分に何ができるか、何をすべきか、何が必要なのか」をモットーに学生に向き合う草野先生の姿こそが、学生に人生の先輩として多くの学びを示しています。

堀内 尊功先生

HORIUCHI TAKANORI
〈経済原論／数的推理／判断推理〉



受験は「状況判断」
そして、それを可能にするのは
「経験値の積み上げ」です

数的推理と判断推理は配点が大きく、教養試験の主要教科です。堀内先生はこれらの教科において、学生がいかに効率よく得点し、目標をクリアするかを熟知した、頼りになる先生です。「受験は状況判断で決まる」「暗記の後についてくる理解もある」(堀内語録)受験生を的確なアドバイスで救ってくれます。

堀内流の授業はハードです。とにかくたくさん問題を解きます。「問題の基本パターンは、そう多くはないのですが、微妙な言葉の言い回しや数字の変化に対応するには、たくさん解いて経験値を上げていくしかないんです」と先生。大量の演習でヘトヘトになる講義なのに、受講した後、不思議と心地よい疲労感と充実感が残る。そんな授業ができる先生です。

上村 一則先生

KAMIMURA KAZUNORI
〈数的推理／判断推理／資料解釈／
数学／物理／化学／生物／地学〉

「一般知識出るとこチェック
生物・地学」著(TAC出版)
「一般知識出るとこチェック
物理・科学」著(TAC出版)



豊富な経験を軸にした
授業を展開!「経験値の蓄積」
の大切さを伝えたい

大量に覚えなないといけないことを、必要なものだけ抽出して指導する“情報提供者”として頼りにされている先生。「大切なのは効率なんです」と言い切る上村先生。一見、クールな言葉を使いながらも、褒める・叱るをバランスよく使い分け、学生一人ひとりのモチベーション維持をサポートしてくれる先生として、学生から多くの信頼を得ています。

学習塾の講師や広告代理店の勤務経験など異色の経歴を持つ上村先生。「自分がしてきた失敗をできるだけ多く学生に伝えたいんです。自分の経験談を通じて学生自身の今後の行動のヒントになれば」厳しい言葉の裏にも、学生の人生をより豊かにして欲しいと願う優しい気持ちが隠れています。

岡田 広一郎先生

OKADA KOICHIRO
〈憲法／民法／行政法／刑法／
政治経済／社会時事〉



法律の本質の
理解を目指し
合格へと導くナビゲーター

「難解と思われがちな法律科目は目先の正解ではなく、本質をつかむことが重要」と話す岡田先生。法律の『原則』の理解を徹底することで、出題の多い『例外』の問題に対応できると、本物の知識と考え方を身につけることに重点を置き、その指導力は「試験合格のナビゲーター」の異名をとるほど。

「公務員を目指す学生にとって、法律の理解は欠かせない。公務員の仕事は公共の福祉を実現することで、そのためには法律が欠かせないのです」そう話す先生は公務員として何をすべきなのか考えるきっかけを学生に与えるよう心掛けています。先生の言葉からは立派な公務員として世に送り出し、活躍し続けて欲しいという気持ちが滲む。指導者として責任を持って教鞭を執る先生は、学生からの信頼も厚い先生です。

花水 倫尚先生

HANAMIZU MICHIHISA
〈判断推理〉



公務員試験の鍵は
「基礎作り」。合格へと
繋がる土台を作ります

「自分の夢を叶える一心で黙々と努力し、合格をつかんだ学生の笑顔を見ると心底嬉しく、そんな場面に携われることが幸せ」という花水先生。誰より学生を愛し、大切に思うことをモットーにしている先生は、授業以外でも、何気ない会話や仕草から学生の状況や考えを察し、声を掛けるようにしています。そして夢へと巣立つ学生を見守り続ける中で、合格のカギは「基礎力」と感じたそう。実際、多くの学生が、しっかりと基礎を身につけることで一つひとつ問題を理解し、苦手を克服できたといいます。

「公務員試験は応用や難易度の高い問題もありますが、基礎がしっかりできていれば恐れることはありません」という言葉に、学生が「頼もしいお兄さんの存在」だと信頼を寄せるのも納得です。

名越 大介先生

NAGOE DAISUKE
〈経済原論／数的推理／
判断推理／資料解釈〉



「全員満足」を追求した
授業展開と的確な指導で
共に合格を勝ち取りたい

「担当する経済原論と数的処理は、とくに学生からの質問が多い科目。学生一人ひとりにきちんと向き合い、的確なアドバイスで理解を深めていきたい」と名越先生。その熱意は、積極的に学生に声をかけ、質問しやすい雰囲気づくりに努める姿勢からはもちろん、初学・既学、得意・不得意に関わらず、「全員満足」を目指して徹底追求された授業内容からも伝わってきます。

また「諦めなければ必ず良い結果につながる」と、学生個々の多様な試験データを綿密に分析し、それを基に「今、何をすべきか」を最優先にした戦略的アドバイスを実施。親身に支え続けてくれる名越先生の実在は、努力を惜しまず学習し続ける学生にとって、最も心強く頼もしい味方です。

田辺 英彦先生

TANABE YOSHIHIKO
〈数的推理／物理／会计学〉



自らの経験と緻密な
データ分析で合格を
つかみ取る得点力を強化する

「公務員試験受験者の先輩として教科指導だけでなく、学生が抱える不安を少しでも和らげてあげたい」という田辺先生。常に学生が納得するまで質問に応じ、何度も面接練習に寄り添うのは、本番の前に直面する迷いや心配事が経験者として痛いほどよくわかるからだといいます。

教員として、経験者として、伝えられるものは全て教授して合格へと導きたいと過去問から頻出分野のデータを取り、それをもとに着実に得点するためのオリジナルレジュメを作成。苦手の学生が多い数的推理は、どの分野のどのような問題が出やすい傾向があるのか統計を取り、徹底研究した上で正解を導き出す解法を指導しています。学生と同じ目線で情熱をもって合格を支えてくれる田辺先生は、学生からの信頼も厚い唯一無二の存在です。

安藤 亮英先生

ANDO RYOEI
〈憲法／民法／刑法／政治〉



公務員試験には「学力」
のみならず「人間力」の
伸長こそ必要不可欠

「公務員試験合格のために必要な学力を養うのはもちろん、公務員として必要不可欠な人間性を成長させることも大事」という安藤先生。常に学生を一人の「個」として尊重し、学生と同じ熱量で合格を目指した指導を実践しています。モチベーションを高めて学習することが学力向上にもつながると、積極的にコミュニケーションを図って学生の質問や疑問を吸い上げ、「分かった!」「できる!」が実感できる授業を展開。自身の指導スキルにおいても、「気づき・改善・検証・継承」を意識した努力を欠かしません。また、社会人となった時のことを見据え、将来の「人間力」に通じる資質の伸長においても、学生のやる気や向上心を引き出したいと考えている安藤先生。常に「学生のために」を大切にしたエネルギーギッシュな指導で学生の頑張りを全力で支えてくれます。

黒木 有里先生

KUROKI YURI
〈学校事務〉



学生の心配や不安を除き
勉強に集中できる
環境を提供したい

学校事務や学校運営業務を通して、学科学年を問わず、多くの学生を見守り続ける黒木先生。教科担当は持たないものの、言葉遣いや立ち振る舞いなど「社会人の基礎力」になるものを示しながら接しています。

広報活動も担う先生が誇るASOの魅力は、学生と先生方との「絆の強さ」。「先生方は常に学生のことを考え一喜一憂しています。そんな先生方のもとへ熱心に質問に訪れ、勉強に励む学生が最終合格で喜びを分かち合う姿をたくさん見てきました。入学前に心配や不安を抱えている生徒さんもいらっしゃると思いますが、先生を信じて日々学習に臨むこと、それが大切です」。学生が勉強に集中できる環境を守り、有意義な学校生活を提供したいと語る先生は合格を支えるサポーターのような存在です。